

<審査委員会特別賞（広報応援事業） 4団体>

■ 特定非営利活動法人 はらっぱ （兵庫）

団体概要	子どもをただ預かるだけでなく、親や周りの大人が共に子どもを育てあえる保育の場づくりを目指し、1979年に保育所を開設した。2001年にNPO法人を設立し、広い地域に向けた児童・乳幼児の健全育成を目指す活動の基盤をつくり、現在では、保育活動にあわせて、子育て相談、障がい児の放課後保育などを行う。
事業概要	本事業は、日本の主食である『米』を中心とした農作業を、親子が実地体験するものである。食の大切さと意味、さらには食と自然のつながりを考えるきっかけの場となることを目指している。兵庫県丹波市の農場で、親子が一年を通して農作物を育てることで、ふれあいを深め、食育や命の尊さを学ぶ。

■ ひょうご多胎ネット （兵庫）

団体概要	双子・三つ子等の多胎児の妊娠・出産・育児は、死産・早産・未熟児産などの予防、マタニティブルー・産後うつ・育児ノイローゼ・虐待の予防などの観点から、単胎に比べ様々な点でリスクが高く支援が必要である。当団体は、2005年に兵庫県内多胎関連グループ交流会を発展させた形で発足し、県内各地の支援者・専門職・研究者などが集う研修会・交流会や、多胎サークルの支援活動などを行う。
事業概要	本事業は、外出もままならず孤立化・密室化しがちな多胎児家庭を、自身も多胎児の親であるピアサポーターが訪問し、気軽に相談できる相手となり、必要に応じて地域資源につなぐピアサポート活動事業を実施するものである。地域の隠れたニーズに光をあて、妊娠時点から多胎と判明する特性を活かし、医療・行政機関と連携した早期アプローチを目指す。

■ 特定非営利活動法人 フェリスモンテ （大阪）

団体概要	地域でお互いに助け合い、最後まで住み慣れた地域で暮らしつづけられるようにと近隣住民が集まって活動を開始した。1999年に法人化し、サロン活動・たすけあい活動・介護保険事業や配食事業などを行い、2004年にグループハウスを設立。現在は、基幹となる介護保険や配食などの収益事業と、高齢者交流サロンや安否確認コールサービスなどの非収益事業を展開する。
事業概要	本事業は、大阪市生野区今里地域において、当団体が行っている高齢者配食サービス「おたっしや食堂今里」の奥の部屋を借り、日中の間に家庭以外で、子ども達が安心して過ごせる居場所をつくる。高齢者事業との連携で世代間交流を図り、子ども自身の成長、親同士の情報交換の場だけでなく、地域交流拠点として機能させる。

■ 特定非営利活動法人 北摂子ども文化協会 (大阪)

団体概要	生あるものの命の尊厳を大切にする精神を柱に「子どもの権利条約」の普及と促進を目指し、1998年から任意団体として活動を開始。1999年に豊能子ども文化協会としてNPO法人化し、2001年に名称を北摂子ども文化協会と変更する。舞台の鑑賞、自然で遊ぶプレイパーク、水月児童文化センターの指定管理運営などを行う。
事業概要	本事業は、群れて遊ばなくなった子ども達が、「ひとやままるごとプレイパーク」の場所を使って山遊びを自分達で計画・実行したり、地域行事などへ参加する「にこにこや土曜塾」を実施するものである。その中で、子ども達は、自分で考え、発言し、他者との違いを聞いて自分の意見を見直し、共同活動を生み出すプロセスを学んでいく。

(50音順)